

「災害救助犬」育成プロジェクト

平成27年2月定例会(事前)
県土整備委員会資料(その2)
危機管理部

目的

災害対応

「南海トラフ巨大地震」などの大規模災害時に人命救助や行方不明搜索活動に力を発揮する「災害救助犬」を育成し、発災時の備えとする。

動物愛護対策

県動物愛護管理センターに收容される犬の中から、災害救助犬として資質のある犬を選定し、新たな飼い主に譲渡し災害救助犬として育成することにより、「動物愛護精神の醸成」を図り、県の目指すべきビジョンである「殺処分ゼロ」に向けた取組をさらに加速させる。

生涯のパートナーを募集中!



役割

①県

- 県動物愛護管理センターに收容されている犬のうち、災害救助犬としてふさわしい素質を持つ犬の選定(2頭)
- 飼い主の公募

②飼い主

- 訓練の実施(約1年間)

③企業

- プロジェクト資金の寄付

④訓練機関

- 災害救助犬の訓練

⑤協議会

- 調整と災害救助犬の健康診断



「人と動物の尊い命を守る」